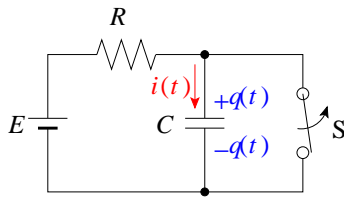


## 電気回路演習 II 第 10 回 (平成 20 年 6 月 27 日 (金))

### 演習

図に示す回路においてスイッチ S を閉じて定常状態になった後、時刻  $t = 0$  でスイッチ S を開く場合を考える。以下の設問に答えなさい。



図

- (a) スイッチ S を開いた後 ( $t \geq 0$ ) のコンデンサ C に蓄えられた電荷  $q(t)$  を求めなさい。
- (b) 設問 (a) の結果からコンデンサ C に流れる電流  $i(t)$  を求めなさい。
- (c) 電流  $i(t)$  の時間変化をグラフに示しなさい。

以下の設問では  $E = 13.5 \text{ V}$ ,  $R = 5 \text{ k}\Omega$ ,  $C = 1 \mu\text{F}$ ,  $e \simeq 2.7$  として答えなさい。

- (d) 時定数  $\tau$  の値を求めなさい。
- (e)  $t = 0 \text{ s}$  のときの電流  $i(0)$  を求めなさい。
- (f)  $t = 5 \text{ ms}$  のときの電流  $i(5 \text{ ms})$  を求めなさい。

### 演習解答

- (a) 定常状態 ( $t = 0$ ) でコンデンサ C の電位  $V_C$ , 電荷  $Q$  はそれぞれ

$$V_C = 0$$

$$Q = 0$$

$t = 0$  でスイッチ S が開いた後の回路方程式は

$$Ri(t) + \frac{q(t)}{C} = E$$

さらに  $i(t) = \frac{dq(t)}{dt}$  から

$$R \frac{dq(t)}{dt} + \frac{q(t)}{C} = E$$

上式の定常解  $q_s(t)$  と過渡解  $q_t(t)$  はそれぞれ

$$\text{定常解} \quad R \frac{dq_s(t)}{dt} + \frac{q_s(t)}{C} = E \quad \rightarrow \quad \frac{q_s(t)}{C} = E \quad \rightarrow \quad q_s(t) = CE$$

$$\text{過渡解} \quad R \frac{dq_t(t)}{dt} + \frac{q_t(t)}{C} = 0 \quad \rightarrow \quad q_t(t) = Ae^{-\frac{t}{\tau}} \quad (A \text{ は積分定数})$$

従って一般解  $q(t)$  は

$$q(t) = q_s(t) + q_t(t) = CE + Ae^{-\frac{t}{\tau}}$$

$t = 0$  での初期条件は定常状態の  $V_C$ ,  $Q$  より

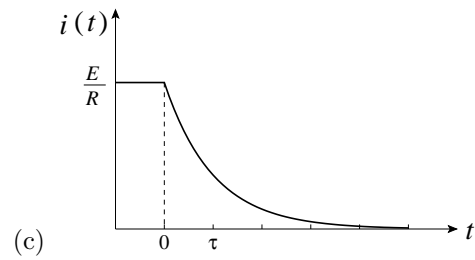
$$q(0) = CE + A = 0 \quad \rightarrow \quad A = -CE$$

以上より

$$q(t) = CE \left( 1 - e^{-\frac{t}{\tau}} \right)$$

(b) 設問 (a) の結果より

$$i(t) = \frac{dq(t)}{dt} = \frac{E}{R} e^{-\frac{t}{CR}}$$



(d) 時定数  $\tau$  は過渡解の振幅が  $1/e$  になるまでの時間なので, 設問 (a) で求めた過渡解から

$$e^{-\frac{\tau}{CR}} = e^{-1} \quad \rightarrow \quad \tau = CR = 1 \times 10^{-6} \times 5 \times 10^3 = 5 \times 10^{-3} \text{ s} = 5 \text{ ms}$$

(e) 設問 (b) の結果に与えられた値を代入すると

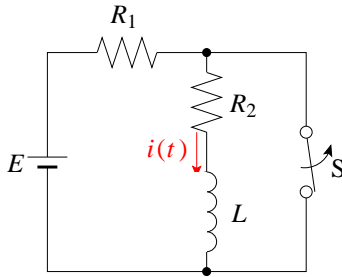
$$i(0) = \frac{13.5}{5 \times 10^3} e^{-0} = 2.7 \text{ mA}$$

(f) 設問 (b) の結果に与えられた値を代入すると

$$i(5 \text{ ms}) = \frac{13.5}{5 \times 10^3} e^{-\frac{5 \times 10^{-3}}{1 \times 10^{-6} \times 5 \times 10^3}} = 2.7 \times 10^{-3} \cdot e^{-1} \simeq 1 \text{ mA}$$

小テスト

図に示す回路においてスイッチ S を閉じて定常状態になった後、時刻  $t = 0$  でスイッチ S を開く場合を考える。以下の設問に答えなさい。



図

- (a) スイッチ S を開いた後 ( $t \geq 0$ ) のコイル  $L$  に流れる電流  $i(t)$  を求めなさい。
- (b) スイッチ S を開いた後 ( $t \geq 0$ ) の電流  $i(t)$  の時間変化をグラフに示しなさい。

以下の設問では  $E = 5.4 \text{ V}$  ,  $R_1 = R_2 = 10 \ \Omega$  ,  $L = 200 \text{ mH}$  ,  $e \simeq 2.7$  として答えなさい。

- (c) 時定数  $\tau$  の値を求めなさい。
- (d)  $t = 0 \text{ s}$  のときの電流  $i(0)$  を求めなさい。
- (e)  $t = 10 \text{ ms}$  のときの電流  $i(10 \text{ ms})$  を求めなさい。

小テスト解答

- (a) 定常状態 ( $t = 0$ ) でコイルに流れる電流  $I$  は

$$I = 0$$

である。  $t = 0$  でスイッチ S が開いた後の回路方程式は、  $R = R_1 + R_2$  として

$$L \frac{di(t)}{dt} + Ri(t) = E$$

上式の定常解  $i_s(t)$  と過渡解  $i_t(t)$  はそれぞれ

$$\text{定常解} \quad L \frac{di_s(t)}{dt} + Ri_s(t) = E \quad \rightarrow \quad Ri_s(t) = E \quad \rightarrow \quad i_s(t) = \frac{E}{R}$$

$$\text{過渡解} \quad L \frac{di_t(t)}{dt} + Ri_t(t) = 0 \quad \rightarrow \quad i_t(t) = Ae^{-\frac{R}{L}t} \quad (A \text{ は積分定数})$$

よって一般解  $i(t)$  は

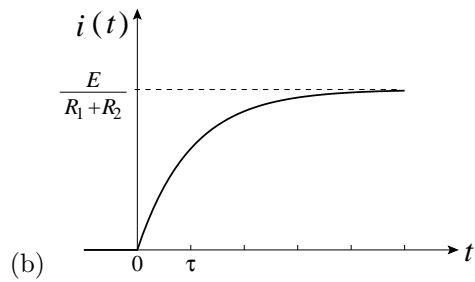
$$i(t) = i_s(t) + i_t(t) = \frac{E}{R} + Ae^{-\frac{R}{L}t}$$

$t = 0$  での初期条件は定常状態での電流  $I = 0$  より

$$i(0) = \frac{E}{R} + A = 0 \quad \rightarrow \quad A = -\frac{E}{R}$$

以上より電流  $i(t)$  は

$$i(t) = \frac{E}{R} - \frac{E}{R}e^{-\frac{R}{L}t} = \frac{E}{R} \left(1 - e^{-\frac{R}{L}t}\right) = \frac{E}{R_1 + R_2} \left(1 - e^{-\frac{R_1 + R_2}{L}t}\right)$$



(c) 時定数  $\tau$  は過渡解の振幅が  $1/e$  になるまでの時間なので，設問 (a) で求めた過渡解から

$$e^{-\frac{R_1+R_2}{L}\tau} = e^{-1} \quad \rightarrow \quad \tau = \frac{L}{R_1 + R_2} = \frac{200 \times 10^{-3}}{10 + 10} = 10 \times 10^{-3} \text{ s} = 10 \text{ ms}$$

(d) 設問 (a) の結果に与えられた値を代入すると

$$i(0) = \frac{5.4}{20} (1 - e^0) = 0 \text{ mA}$$

(e) 設問 (a) の結果に与えられた値を代入すると

$$i(10 \text{ ms}) = \frac{5.4}{20} \left( 1 - e^{-\frac{10+10}{200 \times 10^{-3}} \times 10 \times 10^{-3}} \right) = \frac{5.4}{20} (1 - e^{-1}) \simeq \frac{1}{20} \left( 5.4 - \frac{5.4}{2.7} \right) = \frac{3.4}{20} = 0.17 \text{ A}$$